

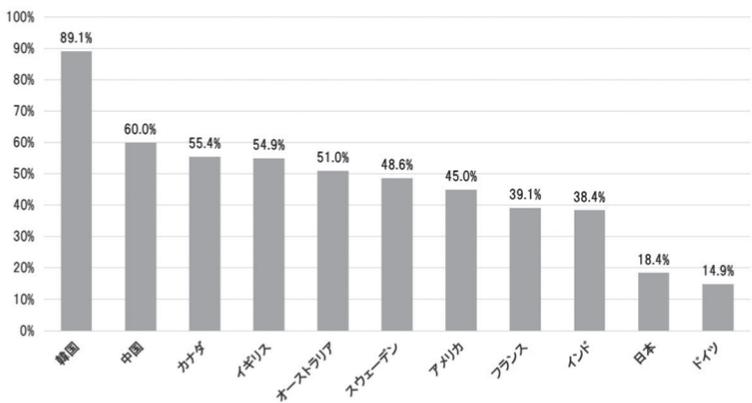
# 『キャッシュレス決済』の現状について

## 消費税アップに伴う景気対策で注目

今年10月1日より消費税率が現在の8%から10%へと引き上げられる予定。消費税率アップに伴う景気対策として政府は増税開始から9か月間に限り「キャッシュレス」にて買い物を行った消費者に、支払い額の5%（大手系列のチェーン店では2%）を還元するとし、昨年末に2798億円の関連予算を計上した。この政府による大盤振る舞いの恩恵を受けようと、キャッシュレス決済が広まっていきそうだ。また、昨今ではスマホを活用した決済なども増えており、関連する話題をまとめてみた。

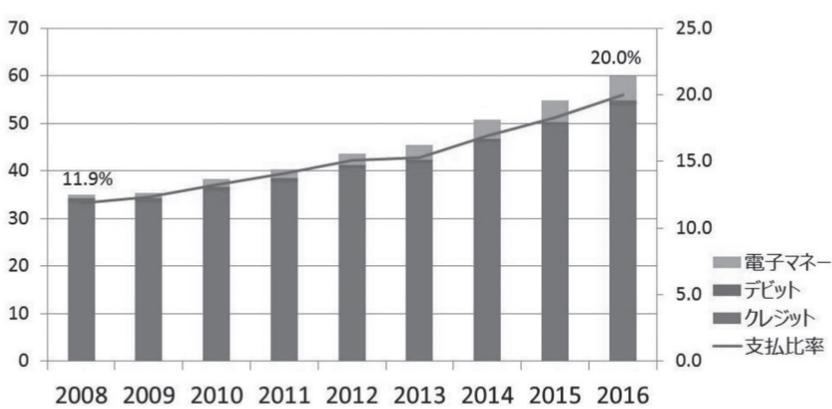
〈表1〉各国のキャッシュレス決済比率の状況(2015年)

※経産省の「キャッシュレス・ビジョン」より



〈表2〉キャッシュレス支払額と民間最終消費支出に占める割合

※経産省の「キャッシュレス・ビジョン」より



楽天ペイ(実店舗決済)は、3つの決済サービスに3つのメリット

楽天ペイのアプリ決済 **R Pay** 200円で1ポイント

楽天ペイのクレジットカード決済 **Rakuten Card** 100円で1ポイント

ポイント費用は楽天負担 **ポイント付率は楽天負担** 200円で3ポイント

ポイント付率 1.5%

楽天ペイの電子マネー決済 **R Pay** 200円で1ポイント

3つの決済サービス共通の3つのメリット!

- メリット ① キャンペーン適用で初期費用無料
- メリット ② 業界最安水準。決済手数料3.24%~
- メリット ③ 楽天ペイで利用で振込手数料無料

▲楽天ペイはクレカ・電子マネー・QRコード(アプリ)決済と幅広く対応(楽天ペイの資料より)

クレジットも!電子マネーも!

タイムズの決済サービス **Times Pay**

0円から始める

決済手数料: VISA 3.24%, JCB 3.74%~

新規導入限定! 0円キャンペーン

▲パーク24のTimes Payも楽天ペイとほぼ同様の内容(Times Payの資料より)

着実にキャッシュレスが浸透している状況にあるが、同じ資料にある諸外国のキャッシュレス決済比率(ただし2015年)は、日本は18.4%と低い。その理由として同省では、「現金を好む国民性という我が国の社会情勢が考えられる」を挙げている。

国内でのキャッシュレス決済の大半はクレジットカードと電子マネーによるもので、クレカは約7割、電子マネーは約2割を占めている。また、電子マネーの中でも、QRコード決済が急激に伸びている。これは、QRコード決済が導入された店舗が増え、決済手数料がカード決済よりも低くなる(約3.24%)という点による。また、QRコード決済は、現金よりも安全で、現金よりも楽に使えるという点も、普及の要因となっている。

QRコード決済は、現金よりも安全で、現金よりも楽に使えるという点も、普及の要因となっている。また、QRコード決済は、現金よりも楽に使えるという点も、普及の要因となっている。また、QRコード決済は、現金よりも安全で、現金よりも楽に使えるという点も、普及の要因となっている。

100億円あげちゃうキャンペーン

PayPayで支払ったら、20%戻ってくる!

▲昨年12月に行われたPayPayの100億円あげちゃうキャンペーンは、わずか10日で終了となった

PayPayなら 0円

初回導入費 0円

決済手数料 0円

入金手数料 0円

PayPay株式会社

Origamiアプリで、お支払い

毎回190円OFF

キャンペーン期間: 12/17(月)~12/31(日)まで

LINE Pay

Payトク

LINE Pay残高 20%還元

キャンペーン期間: 2019年1月25日(金) 0:00~2019年1月31日(木) 23:59